白い粉末の見分け方

見た目では区別しにくい白い粉末を、性質のちがいで見分けよう

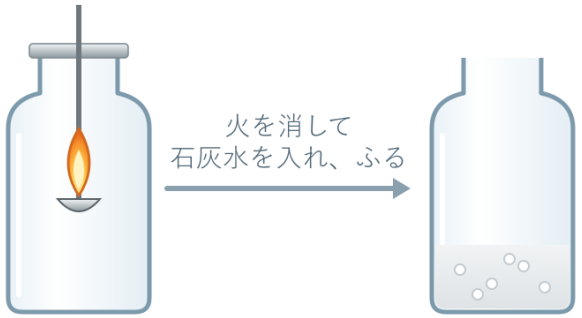
砂糖・食塩・デンプンの白い粉末（見た目はよく似ている）

① 水に入れて、よくかき混ぜる



- 溶けにくく、白くにごる
  - デンプンも、加熱するとこげて黒くなる
  - → **デンプン**（有機物）
- 溶けて、とう明になる
  - **② 残りの粉末を燃焼さじで加熱する**
    - とけて黒くこげ、火がついて燃える → **砂糖**（有機物）
    - 燃えない（変化しにくい） → **食塩**（無機物）

有機物と無機物



→ **二酸化炭素ができた**

有機物

炭素をふくむ物質。加熱するとこげて炭になり、燃えると二酸化炭素と水ができる。例：砂糖・デンプン・ロウ・紙・エタノール・プラスチック

無機物

有機物以外の物質。
例：食塩・ガラス・鉄などの金属・水

※ 炭素や二酸化炭素は、炭素をふくむが、無機物に分ける。

※ 粉末は口に入れて確かめない。加熱するときは保護めがねをかけ、部屋の空気を入れかえる。